



【イベント案内】

札幌学院大学人文学部創立 40 周年記念事業

対話集会 雨宮処凛さんと、人間の生命と尊厳について考える

— 相模原事件から 1 年 —

今年度、本学人文学部は、創立 40 周年を迎えます。創立 40 周年を記念し、作家・社会活動家の雨宮 処凛（あまみや かりん）氏をお招きし、上記のテーマについて検討する「対話集会」を開催します。事前予約不要、参加無料です。ご参加を希望される方は当日直接会場までお越しください。

記

札幌学院大学人文学部創立 40 周年記念事業

対話集会 雨宮処凛さんと、人間の生命と尊厳について考える —相模原事件から 1 年—

■開催日時：2017 年 7 月 8 日（土）開場 9:30 開会 10:00

■開催場所：札幌学院大学 SGU ホール（入場無料・予約不要）

■問い合わせ先：札幌学院大学 教育支援課 人文学部 Tel. 011-386-8111（代表）

概要

2016 年 7 月 26 日、相模原市の障がい者施設「津久井やまゆり園」で、19 人もの方々が殺された事件がありました。警察によると容疑者は元職員で、「障害者は生きていても仕方がない」という動機で事件を起こしたとされています。

社会全体の余裕のなさや不寛容さは、重度障がい者、末期の難病患者、心身機能の低下が著しい高齢者などといった人たちに対して、「社会の役に立たない」「生きるに値しない」との判断をもたらしてしまう。そうした排除や疎外、切り捨てを合理化する考え方に、私たちはどう対抗できるでしょうか。

講師紹介

1975 年、北海道生まれ。作家・活動家。2000 年、自伝的エッセイ『生き地獄天国』（太田出版/ちくま文庫）でデビュー。以来、「生きづらさ」についての著作を発表する一方、イラクや北朝鮮への渡航を重ねる。2006 年からは新自由主義のもと、不安定さを強いられる人々「プレカリアート」問題に取り組み、取材、執筆、運動中。メディアなどでも積極的に発言。3.11 以降は脱原発運動にも取り組む。



※この資料は、北海道庁教育記者クラブ、札幌市政記者クラブ、江別市政記者クラブに配布しています。

【取材のお申し込み】

〒069-8555 北海道江別市文京台 11 番地 札幌学院大学広報入試課広報係

代表 011-386-8111（内線 3518）平日 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00

URL <http://www.sgu.ac.jp/> E-Mail: kouhou@ims.sgu.ac.jp

対話集会

雨宮処凜さんと、
人間の生命と
尊厳について考える
—相模原事件から1年—

2017年7月8日(土)

開場 9:30 開会 10:00

終了予定 12:20

札幌学院大学 SGUホール
入場無料・予約不要

アクセス

- ・JR 大麻駅南口から徒歩10分
- ・新札幌バスターミナルからJR 北海道バス又は夕鉄バスに乗車
「北翔大学前・学院大前」下車徒歩3分
- ・お車でお越しの方は学生駐車場（G館横）をご利用ください。
当日は10:30頃まで誘導員がいます。
※詳細はWEBをご確認ください。 <http://www.sgu.ac.jp>

概要

2016年7月26日の朝、テレビから禍々しいニュースが流れてきました。相模原市の障がい者施設「津久井やまゆり園」で、19人もの方々が殺された事件です。警察によると容疑者は元職員で、「障害者は生きていても仕方がない」という動機で事件を起こしたとされています。

社会全体の余裕のなさや不寛容さは、重度障がい者、末期の難病患者、心身機能の低下が著しい高齢者などといった人たちに対して、「社会の役に立たない」「生きるに値しない」との判断をもたらしてしまう。そうした排除や疎外、切り捨てを合理化する考え方に、私たちはどう対抗できるのでしょうか。

札幌学院大学人文学部は、学部創立40周年記念事業として、作家・社会活動家の雨宮処凜（あまみやかりん）さんをお招きし、上記のようなテーマについて検討する「対話集会」を開催します。

講師紹介

雨宮 処凜（あまみやかりん）氏



1975年北海道生まれ。作家・活動家。2000年 自伝的エッセイ『生き地獄天国』（太田出版/ちくま文庫）でデビュー。以来、「生きづらさ」についての著作を発表する一方、イラクや北朝鮮への渡航を重ねる。2006年からは新自由主義のもと、不安定さを強いられる人々「プレカリアート」問題に取り組み、取材、執筆、運動中。メディアなどでも積極的に発言。3.11以降は脱原発運動にも取り組む。2007年に出版した『生きさせる！ 難民化する若者たち』（太田出版/ちくま文庫）はJCJ賞（日本ジャーナリスト会議賞）を受賞。著書に『14歳からわかる生命倫理』（河出書房新社）、小説『バンギャル ア ゴーゴー』（講談社文庫）、『命が踏みにじられる国で、声を上げ続けるということ』（創出版）、『一億総貧困時代』（集英社インターナショナル）、『自己責任社会の歩き方 生きるに値する世界のために』（七つ森書館）など多数。

主催：札幌学院大学 共催：江別市教育委員会

お問い合わせ：札幌学院大学教育支援課（人文学部）

〒069-8555江別市文京台11番地 ☎011-386-8111（代）

デザイン：Yumi Sato（2006年卒）



ともに歩き、未来を創る。

70th Walk Together